

令和7年第7回函館市教育委員会定例会 会議録

- | | |
|--------|--|
| 1 日 時 | 令和7年(2025年)7月23日(水) 午後1時30分 |
| 2 場 所 | 市役所本庁舎5階教育委員室 |
| 3 出席者 | 藤井教育長, 木村委員, 小葉松委員, 國谷委員, 井口委員 |
| 4 欠席者 | |
| 5 事務局 | 土生生涯学習部長, 堤学校教育部長, 宮田生涯学習部次長,
上野学校教育部次長, 鈴木管理課長, 長濱生涯学習文化課長,
木村文化財課長, 兵吾保健給食課長 |
| 6 傍聴者 | 0人 |
| 7 付議事項 | 別紙議事日程のとおり |

■藤井教育長

- 開会宣言 午後1時30分
- まず, 日程第1, 議事録署名人の指名について, 木村委員, 小葉松委員を指名する。
- 本日の日程のうち, 日程第4 議案第4号「令和8年度(2026年度)使用小学校用教科用図書採択に関し, 議決を求めることについて」から, 日程第9 報告第2号「令和6(2024)年度一般財団法人函館市学校給食会決算の報告について」までを「非公開」としたいが, いかがか。

(異議なし)

■藤井教育長

- 異議がないので, 「非公開」とする。
- 次に日程第2, 月間事業報告について, 事務局の動きについて報告を求める。

■生涯学習部長

- はじめに, 6月17日および18日だが, 市・市議会合同要望が行われ, 教育委員会では, 渡島総合振興局, 北海道, 北海道教育委員会に対し, 文化財の整備推進, 義務教育施設の整備推進に関する要望書を提出した。
- 次に6月29日だが, フルマラソン・ハーフマラソン同時開催の2025函館マラソンが開催され, 全国各地から, 過去最多となる7,899名が出場し, 7,431名が完走した。また, 招待選手および実業団登録選手として, 数多くの有力選手が出場した。
- また6月23日には, 「特別史跡五稜郭跡裏門橋の補修工事について」参考資料を配付した。

■学校教育部長

- 7月17日だが, 「学校再編留保対象校に係る児童生徒数推計の情報提供について」

参考資料を配付させていただいております。

- この期間に教育委員会に寄せられた市民の声を、Googleドライブにアップロードしているので、後ほどご覧いただきたい。

■藤井教育長

- 事務局の動きについて何かあるか。

■國谷委員

- 函館マラソンは今年からハーフとフルが同時スタートとなったが、その反響などはあるのか。

■生涯学習部長

- 教育委員会がとっているアンケートの集計はまだ途中だが、ランニング情報サイトRUNNETの評価では、概ね好評を得ているところである。フルとハーフが同時にスタートする大会はあまり見られないことから、心配もあったようだが、昨年あったようなスタート直後の混乱もほぼなく、非常にスムーズであった。そういった点でも評価いただいているかと思う。

■藤井教育長

- 同時スタートとなったために、フルマラソンの制限時間は昨年より10分長い6時間となった。最後まで見ていたが、ラスト10分で相当数のランナーが来たほか、最終ランナーが入ったと同時に時間切れとなり、思い出すとそれは感動的であった。

■生涯学習部長

- 完走率も昨年より上がっている。

■國谷委員

- 了解した。

■藤井教育長

- ほかにあるか。

(意見なし)

■藤井教育長

- 次に、日程第3 議案第1号「博物館協議会委員の解任に関し、議決を求めることについて」および議案第2号「博物館協議会委員の任命に関し、議決を求めることについて」一括、生涯学習部長から説明を求める。

■生涯学習部長

- 議案第1号については、本人からの辞任の申し出により、田湯 義浩氏を本日をもって解任しようとするものである。

- 議案第2号については、解嘱される委員の後任として柳澤 満氏を本日より令和8年

2月21日まで任命しようとするものである。

■藤井教育長

- 議案第1号および議案第2号について何かあるか。

(意見なし)

■藤井教育長

- 議案第1号および議案第2号について、原案のとおり決定する。
- 次に、日程第4 議案第3号「函館市指定文化財の指定に関し、議決を求めることについて」生涯学習部長から説明を求める。

■生涯学習部長

- 今回、函館市指定文化財に指定する物件は、北海道函館盲学校所有の歴史資料、「ヘレン・ケラーが函館盲啞院で触ふれた社寺模型」1件2点である。
- 本物件は、昭和12年にヘレン・ケラーが来函した際に、実際に手で触れた木製の寺院・社寺模型である。ヘレン・ケラーは、昭和12年に視覚に障がいのある方に対する福祉や教育の向上を説いて全国各地を巡り、函館では、講演会のほか、函館盲啞院に立ち寄った。この時、日本文化の理解のために、生徒の教具として製作された神社・寺院の模型に触れて観察する機会があった。函館盲啞院は、現在の北海道函館盲学校・聾学校の前身で、明治28年の函館訓盲会に始まる、障がいのある子どもたちを対象とした北海道で最初の教育施設である。ヘレン・ケラーの来函は、多くの人々に希望と勇気を与え、函館の教育史の中でも特筆すべき事柄である。
- 模型は、この出来事を現在に伝えるとともに、函館における特別支援教育の息吹を伝える歴史的な教具として学術的にも貴重な資料であることから、函館市の有形文化財として適当なものであるとの答申を、6月25日に、函館市文化財保護審議会からいただいたので、このたび、函館市指定文化財に指定しようとするものである。
- なお、今回の指定により、市指定文化財は91件になることを申し添える。

■藤井教育長

- 議案第3号について何かあるか。

■小葉松委員

- 生徒のための教具として制作されたとあったが、本州等には同様のものは存在するの
か。

■文化財課長

- 全国の盲学校のアンケート調査によると、例えば実技に役立つようなツボの位置を示した人体模型であるとか、そういったものが教具として作られているということはあるが、本件と同じような神社仏閣の模型は、他に例が無かったところである。

■藤井教育長

- ほかに何かあるか。

(意見なし)

■藤井教育長

- 議案第3号について、原案のとおり決定する。

- 次に、日程第5、議案第4号「令和8年度（2026年度）使用小学校用教科用図書採択に関し、議決を求めることについて」および議案第5号「令和8年度（2026年度）使用中学校用教科用図書採択に関し、議決を求めることについて」一括、学校教育部長から説明を求める。

■学校教育部長

- 現在使用中の小学校用教科用図書は、令和5年度、また、中学校用教科用図書は、令和6年度、それぞれ採択いただいたところである。
- このたびは、令和8年度に使用する小学校用教科用図書採択および中学校用教科用図書採択について議決を求めるものであるが、義務教育諸学校の教科用図書の無償措置に関する法律第14条の規定により、政令で定める期間、毎年度、種目ごとに同一の教科用図書を採択するものとされていることから、現行と同じ教科用図書を使用する採択をお願いするものである。

■藤井教育長

- 議案第4号および第5号について何かあるか。

(意見なし)

■藤井教育長

- 議案第4号および第5号について、現行と同じ教科書を採択とする。

- 日程6、議案第6号「令和8年度（2026年度）使用高等学校用教科用図書採択に関し、議決を求めることについて」学校教育部長から説明を求める。

■学校教育部長

- まず、市立函館高等学校においては、実施要綱および基本方針に基づき、校長が使用する教科書を選定した上、教育委員会で採択を行うこととなっている。
- 本年度の選定に当たっては、教科書の採択に関する観点に基づき、校内に設置した教科書選定委員会において、調査研究を行い、その調査研究に基づき、校長が選定した結果を「使用教科書に係る選定結果報告書」として整理し、選定した教科書名および発行者や主な選定理由等を記載している。
- 以上のような経過で、市立函館高等学校において、次年度使用の教科書の選定を行ったので、委員の皆様には、ご採択をいただけるようお願いする。

■藤井教育長

- 議案第6号について何かあるか。

(意見なし)

■藤井教育長

- 議案第6号について、選定したすべての教科書を採択とする。
- 次に、日程第7、議案第7号だが、本日は、函館市小学校用教科用図書選定委員会兼函館市中学校用教科用図書選定委員会の委員長および副委員長に出席をお願いしているので、入室願う
- 日程7、議案第7号「令和8年度（2026年）使用学校教育法第9条に規定する教科用図書採択に関し、議決を求めることについて」学校教育部長から説明を求める。

■学校教育部長

- 学校教育法附則第9条に規定される教科用図書については、特別支援学級の子どもの実態に応じて、教科用図書として使用される、幼児用絵本や図鑑等の一般図書を指し、採択の対象となる一般図書は、道教委から示された「採択参考資料」に登載されたすべての図書であり、そのうち、今回新たに「採択参考資料」に登載された図書6冊である。
- 採択された一般図書は、各学校で、無償給与される教科書として選ぶことができ、子ども一人ひとりの発達の段階に応じて、活用することが可能となる。
- 次に、一般図書にかかわる、函館市教科用図書選定委員会の活動についてだが、7月7日の選定会議において、委員長・副委員長を選出し、教育委員会からの諮問の後、小委員会を設置した。同日、小委員会において、教科書見本等の調査・研究を行い、7月7日付けで答申が行われている。
- 本日の採択の進め方であるが、選定委員会の委員長・副委員長に答申の内容について、ご説明いただき、その後、教育委員会として協議のうえ、採択をいただきたい。
- ここで、選定委員会の小委員長、副委員長を紹介する。まず、委員長は湯川小学校 齊藤 精克校長です。次に、副委員長は桔梗中学校 立花 穰教頭です。

■藤井教育長

- ただいまの説明について、何かあるか。

(意見なし)

■藤井教育長

- それでは、選定委員会から、答申の内容について説明願う。

■齊藤小委員長

- 今年度新たに掲載された6冊の図書の特色について説明する。
- 「まっふるキッズ 日本ちずちょう」は、各地方の地形や気候、自然、文化等についてイラストや写真を使用して分かりやすく紹介したり、各セクションを見開き完結でわかりやすいレイアウトにしたりするなど、身近な社会的事象と結びつけられるよう構成されている。名産品や歴史、建造物についての紹介やクイズがあり、各地方や各都道府

県について興味・関心をもって学ぶことができるよう配慮されている。また、テーマ別に各地方や各都道府県の特徴がまとめられているなど、調べ学習に活用することができる他、平仮名表記が多く、漢字には全て振り仮名が付いているなど、工夫されている。

- 「[改訂新版] 暮らしに役立つ数学」は、計算等の基礎に関わる事象を「基礎編」、それらを生活に結び付けた学習を「生活編」にそれぞれ分けて構成し、日常生活に必要な数学の力を身に付けられるよう構成されている。数と計算、図形等について、例題、問題に取り組むことで基礎的な知識・技能を身に付けるとともに、課題が想起しやすいよう身近な事象を取り扱うことで主体的に学習に取り組めるよう配慮されている。また、数学が日常生活に根付いていると実感できる題材を取り扱っている他、カラーユニバーサルデザインの採用やUDフォントでの表記により、読みやすくなるよう工夫されている。
- 「たまひよ楽器あそび絵本 すてきなピアノえほんDX」は、全33曲の童謡等を通して、音や音楽に親しんだり楽しく関わったりしようとする意欲や態度を養えるよう構成されている。イラストや平仮名で表記された歌詞が使われるとともに、音階の色と鍵盤の色が正対しているなど、子どもにとって使いやすい構造にすることで、分かりやすく学べるよう配慮されている。また、ボタンには音階や数字が振られており、音色もピアノや鉄琴、動物の鳴き声に変更したり、音階を音声で読み上げたりできるなど、工夫されている。
- 「宇宙人とみつける仕事図鑑」は、576の職業について、生活場面ごとに関わりのある職業とその解説が示されており、興味・関心に基づいて職業を調べたり関連する職業を知ったりすることができるよう構成されている。各職業に就くために必要なこと、やりがい等が記載されており、職業に対する理解や関心を深め、働くためにはどのようなスキルを身に付けるとよいかイメージを具体化し主体的に取り組めるよう配慮されている。また、生活場面の中に多様な職種のイラストが分かりやすく描かれており、実生活をイメージしながら読めるよう工夫されている。
- 「暮らしに役立つ英語」は、明確な場面設定により、実際の生活に関連付けられたテーマを取り上げ、様々な場面に応じた表現など必要な知識・技能について、どのユニットからも学ぶことができるよう構成されている。物語形式の構成にすることで、場面に応じた英語でのコミュニケーションを確認しやすくするなど、日常生活に活かそうとする意欲を高められるよう配慮されている。また、全てのユニットが、「英語」「日本語」「練習」「学び」という共通の流れで構成されており、見通しをもって学習に取り組めるよう工夫されている。
- 「はじめてのえいごでおしゃべりえほん」は、様々な場面で使われる日常の英会話フレーズを、視覚的に学びやすいイラストと、正しい発音を収録した音声CDで学ぶことができるよう構成されている。日常生活の場面をイラストと吹き出しで表現し、親しみやすい内容で表現してあるとともに、分かりやすく学べるよう配慮されている。また、発音は、片仮名や平仮名で表記し、アクセントの部分は太字にするなどして、ネイティブな発音を視覚的に学べるとともに、意味は平仮名で併記されており、子どもが生活の中で活かしやすいよう工夫されている。
- 今回の新規掲載本6冊については、子どもの発達段階や特性に応じた活用しやすい図書となっている。

■藤井教育長

- ただいまの説明について、何かあるか。

(意見なし)

■藤井教育長

- 採択に入るので、委員長、副委員長は退席願う。

- それでは、令和8年度(2026年度)使用教科書用図書のうち学校教育法付則第9条に規定する教科用図書の採択に入る。選定委員会の答申を踏まえ、添付の教科用図書一覧に記載されているすべての一般図書を採択してよいか。

(意見なし)

■藤井教育長

- 議案第7号について、教科用図書一覧に記載されている選定したすべての教科書を採択とする。

- 日程第8、報告第1号「令和6(2024)年度公益財団法人函館市文化・スポーツ振興財団決算の報告について」生涯学習部長から説明を求める。

(非公開につき、会議録省略)

■藤井教育長

- 日程第9、報告第2号「令和6(2024)年度一般財団法人函館市学校給食会決算の報告について」学校教育部長から説明を求める。

(非公開につき、会議録省略)

■藤井教育長

- 次に、日程第10「今後の主な日程について」管理課長から報告を求める。

■管理課長

- 次回、令和7年第8回定例会の日程は、8月5日(火)午後1時30分から行う。また、市立小中学校および義務教育学校は7月26日(土)から8月24日(日)まで、市立函館高等学校は7月26日(土)から8月18日(月)まで夏季休業となる。8月21日(木)には令和7年度北海道都市教育委員会連絡協議会定期総会の開催が予定されており、教育長のほか、木村委員、國谷委員が出席となっている。このほか、8月5日(火)から24日(日)までの期間で入舟町前浜海水浴場が開設され、17日(日)には、第35回函館市青少年芸術教育奨励事業音楽コンクールが函館市芸術ホールで開催予定である。

■藤井教育長

- これで、定例会を終了する。

■終了宣言

○ 午後2時12分

議事録署名人 木村雅彦

〃 小葉松洋子

調製者庶務係 庭田真由